



平成14年度の出発に当たって

会長 中田秀雄

急速にグローバル化する中で、昨年はボランティア国際年でもあり、同時多発テロを始め経済的にも歴史の一つの変革点でしたが、今年は安定方向に向かいつつあります。

今年度は着実な活動を継続し、楽しく実績を積み重ねるようになしたく、(1)会員の増加、(2)友好都市活動の基礎作り、(3)国際化教育の推進を今年度の重点目標としました。

地道な人材の発掘により会員増加を実現し、国際交流活動の一つの原点である友好都市活動を目指し、海外の友好交流協会と先ず民間ベースでの協力を活性化したいと思います。この活動は波及効果が大きく、在住外国人との交流と同時に、国際交流活動の活性化及び人材の育成の基本と云えます。国際化教育は、特に若年者の教育は避けて通り得ないもので、我々の最も遅れているものの一つとも云えましょう。この基礎固めとして、野田市教育委員会、同各学校及び近郊国際交流協会とも協調しながら推進したいと思います。

平成14年4月27日の総会及び運営委員会で次の役員及び役職者が選出されました。

会 長	中田 秀雄	総 務 部 長	間中 信彦 (7月3日逝去)
副 会 長	酒井 幸子	友好交流部長	小川 好江
同	古川 滋	同 副 部 長	柳澤 浩
事務局長	桑原 時夫	同	酒井 つかさ
会 計	石川 智子	イベント部長	桑原 時夫
書 記	安広 美和子	同 副 部 長	間中 美代子
同	原 文子	語学学習部長	吉岡 早苗
幹 事	山本 武夫	同 副 部 長	下川原 澄子
同	中山 禎子	同	東原 聖二

事 務 局

就任時の初心として、毎月行われる運営委員会の参加者のご理解と、会長をはじめ書記各位の支援と協力を伴って、会全体の歴史的な内容を「話し、かつ充実していれば、事務引継の大半を省略できるものと信じ、おります。

総 務 部

野田市という世界のひと隅に住まいを与えられ、素晴らしい自然に包まれて日々過ごしています中に、次第に外国からの居住者も増えて賑やかな顔ぶれの昔になって参りました。何か手出しをして地球人のお付き合いに加わりたい、そんな気持ちでNIAの一員に加えさせて頂きました。この度、総務部に所属することになって、さて何をどのようにするのか経験不足と相まって困惑していますが、要は会員の方々の潤滑油となり相互の信頼の上に立って大いにNIAの宣伝に役立てば最高と心得ております。「相談担当」の肩書きがついていますが、私の方が相談したいことばかりです。「三人寄れば文珠の知恵」宜しく願い申し上げます。

友好交流部

異文化理解という言葉が時代のキーワードになってから久しい。最近では異文化理解から多文化理解と表現する方が一般的ですが、要は人間と人間との交流、人間と人間との理解をベースに異なった文化、多様な文化の存在、或いは異なった文化、多様な文化に生きる人びとへの想いを広げて理解を深めようということです。

友好交流部もこの時代のメガトレンドを見据えて次の4つの事業を柱に活動を展開していきます。

- ①大学・大学院留学生のホームステイ
- ②「留学生が先生」プログラム
- ③友好都市提携実現に向けての予備調査
- ④在外生活体験者によるミニ講演会

このうち①は昨年同様「ちば国際コンベンションビューロー」ホームステイプログラムへの参加ですが、昨年はホームステイ受入れ対象を会員に限定しましたが、本年はその枠を市民全体とし町ぐるみで国際交流ボランティアの輪を広げていきたいと考えています。

イベント部

研修面を配慮して、イベントの内容を更に充実したものにするよう企画していきます。七夕まつりパレードではホームステイの皆さんの参加により、にぎやかにできた事を感謝いたします。

イベント部年間活動計画

1. 七夕まつりパレード参加 (8月3日)
 - ・浴衣着付け・踊り練習 (7月21日 中央公民館)
2. 国際交流まつり (9月29日 野田市民会館)
 - ・日本文化の紹介と外国文化の体験
3. 自然の家まつり参加 (11月10日 手賀の丘少年自然の家)
4. 料理教室 (11月24日)
5. 餅つき大会 (12月15日)
6. バスハイク (3月30日)

語学学習部

今年も新しい年度がスタートしました。日本語教室も試行錯誤をしながらみなさんの協力でここまでやってきました。本年度は平日コース、日曜コースの他に近隣の中学校（二川中学校、南部中学校）から日本語学習支援の依頼があり協力することになりました。南部中については現

在検討中です。

今年は是非教える側、教わる側という立場ではなく双方向の活動またリレーション等を通じて楽しく活動していけたらと考えています。日本で暮らす外国の方の生活支援の一環としてスタートした日本語学習支援です。初心を忘れることなくまた異文化を理解し地域に共に暮らす隣人としての関わりを大切に考えていきたいと思っています。

ホリデーホームステイ

元気を分けてもらったホームステイ 野口登美子

野田市の市報に載っていたホストファミリーの募集を見て、すぐに申し込みをしました。“一泊二日”なら私でも何かできるかしらと思ったこと、学生の頃にアメリカのサンディエゴにホームステイをした思い出がよみがえりタイムマシーンで昔の自分と出会うような気持ちが募り応募しました。又、我家の三人の子供達に、人と人との出会い、接することの大切さや感動を体験させたかったからです。

滞在することになったのは、東京理科大学の“松くん”と“亮くん”です。現在も仲良く共同生活をしている二人はとても素直で好感の持てる爽やかな大学生でした。彼らは十年先の将来の夢をいざ目標をもって何事にもトライしていくパワーを感じました。子供達に勇気、根性、元気を分けてもらったように思います。

島国の日本は、まだまだ鎖国的考えから脱皮できないもどかしさを感じます。激動する日本、国際社会を生き抜く為にも日本の良さを取り戻し、人と人が手を結び国際協力していく姿を子供達にバトンタッチしたいと思います。



ホームステイ ありがとうございました 権 チョンヒョン

1泊2日の短いホームステイでしたが、日本に来て日本語と日本の法律を勉強する上で、とても有意義な2日でした。特に古川さんは野田市のいろんなところを知り尽くしていて短い時間に野田市のすべてをわかるようになりました。着いた日から歓迎パーティーを開いてくださったこと、七夕祭りに浴衣姿で踊ったり、楽しい2日でした。特に日本に来てから日常にたべているきっこうまん醤油が野田市にあることをはじめて知りました。そして、醤油の商標が亀甲という模様で名前が付けたことも今更のようにはじめて知りました。

家庭持ちの一般家庭に泊つたらいいと思う心残りもありましたが、私の子供は電車ののるのがすきで楽しい旅行でした。もし、千葉にいらっ

しゃる予定がございましたら私の家でも気軽によってください。いつも歓迎しています。いろいろ世話になってくださってほんとうにありがとうございました。

15人の笑顔

酒井つかさ

今年で二回目の留学生ホームステイは大成功に幕を閉じたと思います。去年は私自信も留学生を一人受け夏休みの楽しい思い出を作る事が出来ました。ホームステイは機会がないとなかなか体験する事が出来なく、又チャンスがあっても期間が長い事に戸惑う方も多と思います。そういう点で今回の企画は気軽に誰にでも体験出来たので、多くの市民の方に貴重な体験をしてもらう事が出来た事を心から嬉しく思います。初めてホストと留学生が対面した時はまだお互いどこかギコチなかつたのですが、時間の経過と共に少しづつ笑顔が増え、別れの頃にはすっかりうちとけ合いますで本当の家族の様でした。たった一泊二日という短い間でしたが、その中でお互いに得る物は大きかったのではないかと思います。今回学んだ事、感じた事を大切に、来年は今年以上に大勢の方の笑顔を見る事が出来る様日々努力をして行きたいと思っています。



「野田夏まつり躍り七夕」に参加して

桑原時夫

今年は、皆様のお陰で8月3日（土）のおどりパレードに昨年以上の参加を得ることができました。国際交流協会のはんてんを羽織って踊った方はかなりの蒸し暑さを感じたことと思いますが、昨年より幾分気温が低かったのは幸いでした。

当日、ホームステイをするため野田市にきた家族の方の参加もあり、日本の夏を十分楽しんでいただけたことと思います。

今回もパレードに大勢の皆様が参加して下さったことで、我が国際交流協会の存在をPRするために大いに役立ちました。盆踊りの練習から始まり、野田市実行委員会との交渉など、準備のためにご尽力いただいた皆様に感謝いたします。

◆ 協会案内 ◆

私たちといっしょに国際交流をしましょう。
どなたでも気軽に参加できます。お待ちしております。

【年会費】 個人会費 2,000円 / 家族会員 3,000円 (家族何人でも)
賛助会員 (1口) 10,000円 / 学生会員 1,000円

■ 野田市国際交流協会
〒278-8550 千葉県野田市鶴奉7-1 (野田市役所 企画調整課内)
Tel.04-7123-1065 Fax.04-7122-1557 <http://www.vivid-net.ne.jp/~nia>

編集 後記

第12号の発行が原稿の少なさで遅れたことを御詫びします。今回は、去年と同様に国際交流まつり“ガーデンパーティー2002”と自然の家まつりの特集号を考えているので、原稿をお願いいたします。

古川 滋